

用語解説 (五十音順)

- ・ ウイルス力価 (ウイルス感染価)

試料中に含まれる感染性をもつウイルス量のこと。定量法には実験動物や培養細胞などを用いた様々な手法があり、定量法によって、一般的には「TCID₅₀ (50%培養細胞感染価)」「ID₅₀ (50%感染量)」「PFU (plaque-forming unit)」などの単位で表される。

- ・ キャリア

外観は健康であるにも関わらず、その体内に病原体を保有し、あるいは排出している宿主のこと。

- ・ 攻撃 (試験)

ある水産動物に対して特定の病原体が感染するかどうかの確認をするために、確実に感染を起こす当該病原体を水産動物に投与する試験のこと。

- ・ 持続感染

通常、感染後、体内のウイルスは、免疫応答の誘導により排除されるが、何らかの機序によりウイルスが十分に排除されず、感染後にウイルスが体内に居続けること。

- ・ 宿主

ウイルスや細菌などの微生物が感染する生物のこと。

- ・ 垂直感染 (垂直伝播)

感染した親から子へ、直接、病原体が伝播すること。水産動物では、感染した親魚から腹腔内であるいは産卵後に卵内に病原体が伝播するものと卵表面の汚染によるものがある。

- ・ 水平感染 (水平伝播)

集団内で個体から個体へ病原体が伝播すること。水平感染には、個体同士の直接接触、水を介した伝播、器具や媒介動物を介した伝播などがある。

- ・ 潜伏感染

持続感染のなかでウイルスのゲノムが宿主の感染細胞内に存在するものの、感染性のある完全なウイルス粒子は産生されない状態のこと。種々のストレスにより宿主の免疫能が低下すると、ウイルスの複製が再開され、ウイルスの放出と回帰感染・再発症が起こる。

- ・潜伏期

感染してから発症するまでの期間のこと。

- ・中間宿主

幼生期（未成熟期）から成熟期への発育に伴い必ず宿主の種類を変える寄生虫において、幼生期の寄生虫が寄生する宿主のこと。なお、成虫が寄生する宿主を終宿主という。

- ・不顕性感染

病原体の侵入を受け、病原体の分離や抗体価の上昇等によって感染の成立が確かめられても、宿主に何の病徴も観察されない状態のこと。

- ・ベクター

病原体をある宿主から他の宿主へ媒介する動物のこと。

（参考）

- ・動物の感染症 第三版（近代出版）
- ・新獣医学辞典（チクサン出版）
- ・獣医微生物学 第3版（文永堂出版）
- ・コアカリ 獣医微生物学（文永堂出版）
- ・獣医微生物学実験マニュアル（チクサン出版）
- ・標準微生物学 第11版（医学書院）
- ・改訂 獣医寄生虫学・寄生虫病学1 総論／原虫（講談社サイエンティフィク）
- ・Bovo G, T Hastein, B Hill, S LaPatra, C Michel, N J Olesen, I Shchelkunov, A Storset, T Wolffrom, P.J Midtlyng (2005) Work package 1 report: Hazard identification for vertical transfer of fish disease agents. Veterinary Science Oppdragssenter, European Commission, Oslo, p 35.
- ・江草周三 (1994) 魚類における垂直伝播の機序. 魚病研究, 29: 43-52.